

令和6年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
あだち若者サポートテラス運営 業務委託	若者の総合相談窓口「あだち若者サポートテラス(SODA)」にて、学校や仕事の悩み、メンタルヘルスの不調を抱えている若者に対して、精神科医や精神保健福祉士などの専門スタッフが早期に介入し、相談・支援を行いました。 1 利用者数 128人
足立ミライゼミ事業	成績上位であるものの家庭の事情などにより塾などに行けない高校1年生及び2年生を対象に、難関大学合格を目指す無料学習塾を実施しました。 1 参加人数 1年生 26人、2年生 32人
あだち子どもの未来応援活動 助成金	あだち子どもの未来応援基金を活用し、学習支援、居場所、経験・体験、子ども食堂など子どもの健やかな成長を支援する活動団体及びフードパントリー活動団体を支援するため、あだち子どもの未来応援活動助成金の交付を決定しました。 1 子どもの未来応援活動団体支援事業補助金 6事業(6団体) 2 フードパントリー運営団体支援事業補助金 6事業(6団体)
夏休み期間中における体験講座等の無料化事業 (あだちワークわーく in Summer)	夏休み期間中に区有施設で実施する体験講座等の一部について、子どもの参加費を無料としました。 1 無料化対象講座 84講座
子育てサロン事業	1 7月18日に子育てサロン東保木間、8月29日に子育てサロン西新井で「あだち絵本シアター」を実施しました。前半は親子向けに絵本の読み語りをを行い、後半は保護者向けに絵本についての講座を行いました。合わせて39組73人の参加でした。 2 0歳児とその保護者を対象としたイベント(ベビーマッサージ、ハイハイ競争、育児講座等)を42回実施し、261組589人の参加がありました。

令和6年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
文化芸術推進事業	【文化分野】 1 あだち区展2024 作品展示はシアター1010、表彰式は竹の塚地域学習センターホールで開催しました(出品数:延べ752点、観覧者数:延べ3,313人)。 (1)前期(6月18日～23日) ア 出品数 絵画(一般)83点、彫刻(一般)21点、 図工美術(平面)197点、(立体)24点 イ 観覧者数 1,801人 (2)後期(6月25日～6月30日) ア 出品数 書道(一般)92点、(少年)265点、写真(一般)61点、(少年)9点 イ 観覧者数 1,512人 (3)表彰式(7月23日) ア 表彰者数 98人 2 文化のちから体験会(シアター1010) (1)「はじまるよ!あつりさとチョッピーの森」 NHK「おかあさんといっしょ」21代目うたのおねえさん小野あつこ氏と同「パント!お姉さん」の上原りさ氏のオリジナルコンサートを実施しました。 ア 実施日 6月29日 イ 参加者数 646人 (2)「夏霞～NATSUGASUMI～」 アイドルグループ「僕が見たかった青空」が出演する、高校合唱がテーマの舞台作品への区民無料招待を実施しました。 ア 実施日 7月11日、7月12日、7月17日、7月18日、7月19日 イ 参加者数 延べ130人 (3)「秋川雅史 千の風になってコンサート～聴いてよく分かるクラシック3～」 「テノール貴公子」秋川雅史氏による、音楽の成り立ちやヒット曲の秘密などに関するトークを織り交ぜたコンサートに区民を無料招待しました。 ア 実施日 8月28日 イ 参加者数 615人 3 ストリートピアノ事業 北千住マルイの2階入口前で1日限定イベントとして実施しました。 (1)実施日 5月3日 (2)参加人数 大人30人、子ども25人 延べ55人 4 東京藝術大学連携事業 文化芸術への関心を高めるため、東京藝術大学連携事業を実施しました。 (1)メープル木管五重奏団公演vol.1 ア 実施日 7月13日 イ 実施場所 竹の塚地域学習センター 4階ホール ウ 参加人数 194人 (2)大人のための邦楽ワークショップ「箏はじめ」 ア 実施日 8月31日 イ 実施場所 東京藝術大学 千住キャンパス ウ 参加人数 29人

令和6年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
読書活動推進事業	【読書分野】 1 電子図書館事業 (1) 図書館以外の身近な場所でも本に触れられるサービスを実施しました。 (2) 貸出冊数 12,269回(4月から9月) 2 あだちはじめてえほん事業 子どもの読書習慣の定着、将来の社会性と学力向上に貢献するため、乳幼児健診の機会を捉え絵本を配付し、親子がふれあうことの大切さと絵本を読む楽しさを伝えました。 (1) 3～4か月児健診時: 健診受診時に絵本を1冊配付 配付冊数 1,905冊(4月から9月) (2) 1歳6か月児健診時: 健診通知に引換券を同封し区立図書館と子育てサロン・児童館で絵本と引換え 引換冊数 1,753冊(4月から9月) 3 調べ学習用図書の配送 (1) 区内小・中学校へ調べ学習用図書の配送サービスを実施しました。 (2) 配送回数(4月から9月) ア 小学校 24校 145回 6,335冊 イ 中学校 12校 47回 1,760冊 4 「りんごの棚」関連図書の購入 やさしい言葉でわかりやすく書かれた図書などを集めた「りんごの棚」に配架するための図書を購入し、読書バリアフリーに向けた取り組みを推進しました。 (1) 購入図書(冊数) ア 大活字図書 (3冊) イ LLブック※ (25冊) ウ 点字図書 (30冊) ※ やさしい言葉やピクトグラム、図などを使ってわかりやすく書かれた本
運動・スポーツ推進事業	【スポーツ分野】 1 スペシャルクライフコートフェスティバル 障がいのある方を中心としたパラスポーツ体験やステージ発表等のイベントとして、誰でも参加できるスペシャルクライフコートフェスティバルを開催しました。 (1) 4月29日 体験参加延べ人数 2,564人(うち障がい者延べ237人) 2 パラスポーツ体験会・教室 障がいの有無に関わらず誰でも参加できるパラスポーツ体験会や障がいのある方向けの運動・スポーツ教室を、スペシャルクライフコート等で実施しました。 (1) 実施回数 29回 (2) 体験人数 905人(うち障がい者499人) 3 初級パラスポーツ指導員養成講習会 日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導者制度に基づいた、パラスポーツを支える人材育成のための講習会を実施しました。 (1) 参加人数 11人 4 ボッチャひろば 初級パラスポーツ指導員養成講習会受講者の運営による、障がいの有無に関わらず誰もが参加できるパラスポーツ「ボッチャ」のイベントを4月より月1回、実施しました。 (1) 参加人数 153人(うち障がい者63人)

令和6年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
文化・読書・スポーツ活動協創推進事業 【3分野連携】	【分野連携】 1 3分野連携事業 主に20～40歳代の子育て世代を対象として、「読書×スポーツ」「読書×文化」「文化×スポーツ」といった分野間の連携により、各々の施設利用者が異なる分野への関心・行動につながる働きかけを行うことで、新たな分野に親しむ人を増やす取り組みを実施しています。 (1)実施内容 おはなし会での親子ベビーヨガ体験、図書館入口前でのモルック体験やカルチャー体験、講座でのブックトークなど (2)実施期間 令和6年8月～12月（一部講座は期間外にも実施） (3)実施場所 15か所（生涯学習センター、地域学習センター13か所、江南コミュニティ図書館） (4)講座数等 309種・1,134回（予定）
こども未来創造館事業	【夏休みこどもおしごとらんど】 子どもたちがプロから仕事を学び、楽しく体験する企画「こどもおしごとらんど」を開催しました。今回は21社が参加し、多岐にわたる職業体験を通じて、将来の職業選択のきっかけづくりやお金の大切さを学ぶ機会を提供しました。 1 実施日 8月21日～8月22日 2 参加人数 延べ205人 【参考】ギャラクシティ利用者数（4月～9月） 705,985人 （※ 西新井文化ホール 46,721人含む）
パラスポーツ推進事業 【障がい者のスポーツ活動助成制度】	障がい者の運動・スポーツ機会の拡大と活動の継続化を目的に、運動・スポーツ活動にかかる経費を助成しました。 1 交付決定件数 199件 2 交付決定金額 1,908,600円
パラスポーツ推進事業 【学校訪問型パラスポーツ体験教室】	子どもの頃からパラスポーツを通じた障がい者理解を広げていくため、小学校においてパラスポーツ体験教室を実施しました。 1 実施校数 29校 2 体験人数 延べ2,329人
パラスポーツ推進事業 【障がい者スポーツの場や機会の創出】	障がいのある方を対象に、障がいの状況に合わせて支援方法・使用機器の工夫が可能なライフル射撃の体験会・教室を実施しました。 1 ライフル体験会（スペシャルクライフコートフェスティバルのブース出展） (1)実施日 4月29日 (2)参加者数 延べ215人 2 ライフル教室 (1)実施日 7月28日 (2)参加者数 11人

令和6年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
出産費助成事業	令和6年4月以降に出産した方を対象に、出産費用の総額と出産育児一時金など（約50万円）の差額分に対し、子ども1人につき10万円を上限として助成しました。 【支給実績】 1 支給件数 911件 2 助成金額 82,624,817円（1件あたりの平均支給額90,697円）
あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)の推進事業(妊産婦支援事業、こんにちは赤ちゃん訪問事業、3～4か月児健診事業)	保健師等による妊婦全数面接をはじめ、産後の赤ちゃん訪問、3～4か月児健診、1歳時アンケート、産後ケア等により、全妊産婦に対し、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援を実施しました。さらに、特に支援が必要な妊産婦や家庭には、その人に寄り添った適切なケアを行いました。 令和6年度からの新規・拡充事業として、低所得妊婦に対する初回産科受診料の助成、ファーストバースデーサポートの東京都補助事業として5万円分の上乗せ、妊婦超音波検査費用助成の回数を2回から4回へ拡充を行いました。また、宿泊型産後ケアは新たに区内産科医療機関として「長門クリニック」が追加されました。 1 スマイルママ面接（妊婦全数面接） 面接実施及びこども商品券配付人数 2,349人 2 特に指導・支援が必要と判断した妊婦に対し、 保健師が訪問した人数 166人 3 「こんにちは赤ちゃん訪問」訪問実施人数 延べ2,104人 4 ファーストバースデーサポート（1歳時アンケート） こども商品券配付人数 1,938人 5 デイサービス型産後ケア利用人数 延べ193人 6 宿泊型産後ケア利用人数 217人 7 低所得妊婦に対する初回産科受診料助成件数 13件
予防接種事業 (HPVワクチン男性接種補助事業)	女性の定期接種となっているHPV4価ワクチンは男性の肛門がんや尖圭コンジローマなどの性感染症に対し有効であることから、接種費用の全額補助を開始しました。 1 予診票申請件数 1,588件 2 1回目接種件数 584件
ユニバーサルデザイン推進事業	1 「足立区ユニバーサルデザイン推進計画 中間検証・後期実施計画（令和6年度～令和7年度）」に基づき、令和5年度に実施した個別施策について、自己評価を行いました。 2 今年度も、各担当部署で上記計画の年度別計画に基づき、個別施策を実施しています。
教育政策管理事務 【小学校図書館支援員の派遣】	民間事業者の専門的なノウハウを活用し、学校図書館の環境整備、読書活動の推進など、教員と連携しながら、学校図書館の活用充実にに向けた支援を行いました。令和6年度は22校の小学校を対象に派遣日数を年間90日から年間180日に拡充し、令和5年度拡充した学校と合わせて全校の2/3程度の配置日数拡充を完了しました。 1 実施校 小学校全67校 2 令和6年度派遣日数拡充校 22校（令和5年度と合わせた拡充完了校45校） 3 拡充内容 年間90日（概ね週2日）→年間180日（概ね週4日）

令和6年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
教育政策管理事務 【学校司書の配置】	中学校全校の図書館に学校司書を1人配置し、図書の整理をはじめ、学校図書館だよりの発行、調べ学習のサポートなどにより、生徒の学習や読書活動の充実に向けた環境づくりに取り組みました。あわせて、司書としての専門性を高めるため、学校図書館スーパーバイザー及び学校巡回司書による全校への巡回指導や学校司書地区別連絡会を実施しました。 1 学校司書 35人(中学校35校に配置) 2 学校司書地区別連絡会 4地区で各1回、延べ4回実施(9月末時点)
学力向上対策推進事業 【多層指導モデル(MIM)】	学習の基礎となる「流暢な読み」の獲得を目指し、全校小学1年生各クラスの学習や活動において、異なる学力層の子どもに対応した指導・支援を行うとともに、教員を対象にMIM研修会を2回実施しました。 1 参加人数 第1回109人・第2回90人(9月末時点)
学力向上対策推進事業 【AIドリル】	AI機能による個別最適な学びを通して、児童・生徒一人ひとりのつまずきを効果的に解消し、基礎学力の定着を図りました。 1 対象 小学1年生～中学3年生 2 1人あたり平均解答数 1,485問(4～9月合計)
学力向上対策推進事業 【中1夏季勉強合宿】	算数・数学のつまずきを解消することを目的として、中学1年生を対象に、宿泊形式、もしくは学校への通所形式で、小・中学校教員がマンツーマン指導を行いました。 1 実施期間 【宿泊型】8月6日～8月8日 【通所型】各校で、夏季休業中の5～8日間程度を設定 2 参加人数 【宿泊型】26人(14校) 【通所型】260人(21校)
学力向上対策推進事業 【足立はばたき塾】	家庭の事情などにより塾等での学習機会が少ないが、成績上位で学習意欲が高く、将来の夢の実現に向けて難関高校等への進学を目指す、中学3年生を対象にした、難関高校等受験対策講座を民間教育事業者を活用して実施しました。 1 参加生徒数 95人 2 定期講座(土曜日実施) 上半期分22回を予定通り実施 3 集中講座(夏季休業期間) 10回を予定通り実施(9月末時点)
学力向上対策推進事業 【小中連携事業】	小学校から中学校への円滑な移行と児童・生徒の学力定着のために、各中学校区を単位とした連携校が授業研究や交流活動などに取り組みました。 1 実施校 全小・中学校 (1)外部講師招聘グループ数 18グループ(35グループ中) (2)外部講師招聘活動延べ回数 20回(9月末時点)

令和6年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
学力向上対策推進事業 【英語マスター講座】	一定レベル以上の英語力があり、かつ英語を学ぶことへの強い興味・関心と、自らの英語力向上への高い意欲を有する中学生を対象に、オンライン英会話を活用して英語4技能5領域（「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「発表」「書くこと」）を伸ばすための委託事業を実施しました。 1 参加生徒数 118人 2 火曜・水曜・木曜・金曜に2クラスずつ計8クラスで実施 3 各クラス12回～13回実施（9月末時点）
学力向上対策推進事業 【大学連携事業】	教員の指導力向上および児童・生徒の英語力向上とその英語力の発揮に向け、明海大学との協定に基づく連携事業を展開しました。 1 大学教授による中学校授業改善支援(6回) 2 大学教授による英語教育アドバイザーの育成支援(8回) 3 大学教授による区民対象英会話講座(5回) 4 留学生が中学生と交流する交流学习事業の実施(1校) 5 日本語指導を目的とした教員研修(1回)（9月末時点）
スクール・ロイヤー制度 【学校の指導事務】	学校で対応困難な案件が増加している現状を鑑み、学校管理職や教職員が弁護士に直接相談できる形式の「学校事例検討会」を、令和6年度から毎月3回(30分4コマ)実施しています。 1 相談件数 24件(9月末時点)
不登校未然防止事業 【学校教育充実事務】	不登校を未然に防止するため、生徒が落ち着いた空間で学習・生活できるようSSR(スモールステップルーム)を中学校3校(第一、加賀、蒲原の各中学校)に開設しました。既存の六月中学校と合わせて、4校でSSRを運営しています。
発達障がい児支援事業 【発達支援児に対する事業の推進】	発達に心配のある児童の保護者や保育者に対して、特性に応じた対応の助言に努めました。 1 相談しやすい窓口 (1)相談受理件数 843件 (2)保健センターの子ども相談で面談した件数 682件 2 保育所等への専門職派遣回数 (1)発達支援児対象の巡回相談 237回 (2)保育所等からの依頼に基づく専門職派遣 129回（9月末時点）

令和6年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
発達障がい児支援事業 【医療的ケア児支援】	医療的ケア児支援において、試行実施を経て、区立小学校で2方式による本格的な支援を開始し、区立保育園からの切れ目ない支援の継続を実現しました。 1 区立保育園 5園 2 区立小学校 6校 (1)常駐方式1校(認定特定行為業務従事者が校内常駐) (2)訪問看護事業者委託方式5校(訪問看護事業者に委託し学校へ巡回訪問) (9月末時点)
不登校児童・生徒に対する支援事業	不登校の未然防止を図るため、各小中学校に登校サポーターを派遣し、家庭へのお迎えや学校での別室を利用する児童・生徒への支援を行いました。 1 登校サポーター 123人 2 対象児童・生徒 お迎え支援 29人 別室登校支援 256人 (9月末時点)
不登校児童・生徒に対する支援事業	主に長期の不登校児童・生徒の自宅に家庭教師を派遣し、寄り添った学習支援を行いました。 1 小学生利用 15人 2 中学生利用 14人 (9月末時点)
不登校児童・生徒に対する支援事業	不登校児童・生徒への支援として、私立学びの多様化学校に在学する小・中学生の保護者に対する授業料の一部助成を行いました。 1 授業料の2分の1(1万円未満切捨て)かつ上限30万円(年額) (1)小学生 9人 (2)中学生 21人 (9月末時点)
不登校児童・生徒に対する支援事業	仮想空間にある学習支援プログラムを活用し、不登校が長期化している生徒に対するオンラインによる支援を行いました。 1 中学生利用 4人(9月末時点)

令和6年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
育英資金事業	1 経済的な理由等で返済が困難な方に対して、返済猶予を実施しました。 ※募集期間:4月1日～12月15日 返済猶予:64人 2 奨学金返済支援助成の交付決定者に対して、助成金を支給しました。 支給件数:11人 3 育英資金一部償還免除の対象者に対して、一部償還免除を行いました。 免除件数:3人 4 給付型奨学金採用者に対して、奨学金を支給しました。 支給件数:41人 5 給付型奨学金(令和7年度奨学生)について、募集を行いました。 ※募集期間:6月21日～7月19日 応募件数:206人 6 給付型奨学金の奨学生募集に際し、一次選考を目的として、応募者の一部に対して一斉テストを実施しました。 (1)テスト受験者:49人 (2)テスト実施日:8月24日
中学校要保護・準要保護生徒就学援助事業	物価高騰による修学旅行の費用増に対応するため、就学援助の修学旅行単価を増額しました。(60,910円→67,215円) 1 支給人数 1,088人 ※10月15日時点
小・中学校給食業務運営事業【区立小・中学校の給食費無償化】	子育て支援策の一環として、区立小・中学校の給食費無償化を実施しました。 1 対象者数(令和6年4月7日現在) (1)小学校 29,111人 (2)中学校 13,414人(夜間学級の生徒を含む。)
小・中学校給食業務運営事業【おいしい給食の推進】	1 児童・生徒の食に対する意識や食べる意欲の向上を図るため、小・中学校全校で喫食時間の確保や食育に取り組む「もりもり給食ウィーク」を実施しました。 実施日:6月17日～6月21日 2 「足立の野菜収穫量第2位【キャベツ】や第3位【エダマメ】を使ったメニュー」をテーマとし、給食メニューコンクールを実施しました。 応募総数:小学校4,397作品・中学校3,296作品 計:7,693作品
自然教室事業	小学5・6年生と中学1年生を対象に、自然や地域文化に親しみ、様々な体験をする自然教室を2泊3日で実施しました。 1 鋸南自然教室(小学5年生):40校実施 2 日光自然教室(小学6年生):28校実施 3 魚沼自然教室(中学1年生):28校実施

令和6年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
家庭教育推進事務	多くの子どもたちが公衆浴場での社会的マナー等を体験・学習する機会の充実を図るため、区内各銭湯において、夏休み期間中(7月21日～8月31日)の子ども(18歳以下)の入浴料金無料化事業を実施しました。 1 乳幼児(入浴料100円 →事業期間中無料) 1,993人 2 小学生(入浴料200円 →事業期間中無料) 6,671人 3 中高生(入浴料520円※→事業期間中無料) 11,821人 ※ 入浴料改定に伴い8月から550円
体験学習推進事業	区内大学と連携して、小中学生と大学生との交流や学習意欲向上を図る体験活動、中高生を対象としたアートワークショップ等を実施しました。 1 アートワークショップ(中高生)東京未来大学 6月23日 25人 2 0からENGLISH(小学生)文教大学 6月30日 45人 3 科学・ものづくり体験教室(小学生)東京電機大学 夏休み期間 220人 4 体験! 1日大学生(中学生)帝京科学大学 8月24日 47人 5 enjoy夢の体験教室(小学生)帝京科学大学 8月24日 59人 6 電気の基礎講座「電子回路を作ろう」(中学生)東京電機大学 9月28日 28人
放課後子ども教室推進事業	地域の方々の協力により、小学校施設(校庭や教室など)を活用し、児童の放課後の安全安心な居場所を提供しました。 1 実施校 小学校67校 2 実施日数 延べ4,672日(時期及び期間は各校による。) 3 参加人数 延べ218,842人
青少年対象の事業および指導者の育成・支援事業	ジュニアリーダー研修会を修了した区内在学・在住の小学6年生およびジュニアリーダースーパー研修会を受講している区内在学・在住の中学生を対象に、国立中央青少年交流の家(静岡県御殿場市)で宿泊キャンプを実施しました。 1 実施期間 8月10日～8月12日 2 参加者 108人
幼児教育推進事業・家庭教育推進事務	1 幼児教育研修 教育・保育の質の向上のため、幼稚園教諭・区内保育従事者等を対象に人権や年齢別の担任・運動遊び等の研修、さらに小学校教員も対象に含めた接続期教育研修を開催しました。 (1)実施回数 52回 (2)参加者 2,788人 2 幼保小連携活動 教員・保育者間の相互理解を深め、子どもたちのスムーズな小学校就学のため、区内13ブロック代表校・園からなるブロック担当者会議を実施し、各ブロック会議や連携活動(体験給食・学校探検等)を行っています。 3 生活リズム定着推進事業 夏休み期間中の生活リズムが崩れないよう、希望する小学校の1年生に対して「早寝・早起き・朝ごはん」4週間版チェックブックを配布しました。 【配布数】小学校42校 2,861冊

令和6年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
就学前教育・保育施設の質の維持・向上	区内就学前教育・保育施設を対象に、指導検査及び巡回訪問を実施しました。 1 指導検査 (1)実施施設数 90か所 (2)実施期間 5月22日～9月26日 2 巡回訪問 (1)実施施設数 286か所 (2)実施期間 4月24日～9月30日
学童保育室運営事業	1 待機児童が多い関原地区に新たに民設学童保育室を1か所開設し、40人の定員増を図りました。 2 民設学童保育室、指定管理学童保育室の人件費を見直しました。 (総額540,517千円から635,195千円に見直し) 3 民設学童保育室の賃借料補助を見直しました。 (月額25万円を超える部分の補助率1/2から8/10に見直し)
幼児教育振興事業 (子どもの読書活動モデル事業)	1 未通園児の読書活動支援事業 社会と関わらないまま、就学を迎える未通園児(5歳児)がいる世帯へ訪問し、読書活動を支援するため、絵本を配付しました。 (1)対象世帯 63世帯 (2)絵本配付数 34冊 2 絵本活用のため、集合研修及び園内研修を実施 (1)集合研修 ア 回数 1回 イ 参加人数 84名(区立42名・私立42名) (2)園内研修 ア 実施園 2園 イ 参加人数 延べ91名
保育士確保・定着対策事業 (保育士確保のための足立区特設ページ作成委託事業)	保育士確保・定着事業のPRを強化し、その効果を高めるため、民間事業者が運営する保育士専門求人情報サイトに足立区特設ページを掲載しました。
公立保育園の管理運営事務・区立認定こども園管理運営事業 (子どもの読書活動モデル事業)	1 子どもの読書活動モデル事業 子どもたちの読書週間を育むため、区立保育園・こども園で絵本コーナーの拡充を図りました。 (1)実施園数 8園
認証保育所運営経費助成事業 (運営費補助)	東京都認証保育所に対する運営費補助の単価を増額して補助しました。 1 対象施設 33施設 2 支給金額 773,475,080円
認証保育所等利用者助成事業 (負担軽減補助)	東京都認証保育所を利用する方の保育料の負担軽減額を増額し、さらなる保育料の負担軽減を実施しました。 1 利用人数 延べ5,804人 2 支給金額 274,620,930円

令和6年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
認証保育所等利用者助成事業 (ベビーシッター待機児童支援)	新たに住民税課税世帯かつ第2子以降で0から2歳児クラスの児童の利用料金を補助対象として、利用料と交通費の補助を実施しました。 1 利用人数 5人 2 支給金額 303,331円
認証保育所等利用者助成事業 (認可外保育施設等利用費)	認可外保育施設を利用する方の保育料補助について、補助対象と金額を拡充し、さらなる保育料補助を実施しました。 1 利用人数 延べ596人 2 支給金額 13,988,481円

令和6年度上半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内 容
防犯活動支援事務 (防犯対策品購入費用助成)	防犯対策品を購入・設置した区民に対し、令和6年4月26日から対象品目48種の購入・設置費を助成しました。 1 申請件数 1,434件(9月30日現在) 2 区民からのご要望を踏まえ、インターホン連携型防犯カメラ他3品目を追加しました。 3 バイク盗の増加に伴い、バイク盗対策物品の補助率及び上限額を変更しました。
防犯活動支援事務 (客引き行為等対策)	客引き行為等を防止するため、毎日午後6時から午前0時までの間、竹の塚地区(令和5年度から実施)及び千住地区(令和6年度から実施)の巡回警備委託を実施しました。
防犯活動支援事務 (防犯パトロール)	刑法犯認知件数のさらなる減少や区民の体感治安の向上に資する「見せる防犯」を強化するため、365日24時間体制で青色パトによる区内防犯パトロールを実施しました。
防犯活動支援事務 (自転車盗対策)	自転車盗対策として、以下の事業を実施しました。 1 スポーツタイプの自転車が被害に遭いやすいことを受け、防災行政無線の放送、区内都立9高校及び区内自転車店に対して啓発ポスターを配付しました。 2 区内各警察署から提供される前日の自転車盗難発生場所の情報を基に、青パト防犯パトロールによる鍵かけの広報活動を実施しました。 3 区内各警察署と連携し、盗難多発地域における「警告札」の取付を推進しました。
防犯活動支援事務 (侵入盗難対策)	侵入盗難対策として、センサーライトの無償貸与及び防犯フィルムの無償配布を行いました。 1 センサーライト貸与数 388件(9月30日現在) 2 防犯フィルム配布数 356件(9月30日現在)
防犯活動支援事務 (特殊詐欺対策)	特殊詐欺対策として、以下の事業を実施しました。 1 自動通話録音機を67台無償貸与しました。 2 サポート詐欺対策として、「ダミーカード」を作成、区内4警察署に配布し、警察署から区内コンビニ店舗に陳列を依頼しました。 3 犯人との通話ができなくなるように、区内無人ATMの一部に携帯電話抑止装置を設置しました。 4 SNS、あだち広報にて特殊詐欺対策の啓発を行いました。 5 防災行政無線等の音声に有名声優を起用し、注意喚起を実施しました。
食べてフレイル予防事業【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施】	通いの場(住区センター等)35会場において、60歳以上の高齢者に対して栄養講座を実施しました。 ※ 住区センター等35会場(青井、綾瀬、入谷、梅島、桜花、扇、大谷田谷中、押皿谷、加賀、栗原北、弘道、江北コミュニティ、五反野コミュニティ、佐野、鹿浜、島根、神明、千住あずま、千住本町、千住柳町、東和、舎人、長門、西新井栄町、西新井本町、西伊興、花畑、花保、東伊興、平野、保塚、南花畑、六木、本木関原、鹿浜いきいき館) 1 栄養講座 35回 2 参加者 1,049人

令和6年度上半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内 容
ジェネリック医薬品普及事業	ジェネリック医薬品の普及・啓発を図るため、国民健康保険の保険証交付時に、案内リーフレットや、保険証に貼付するジェネリック医薬品希望シールを配布しました。 1 パンフレット・希望シール作成経費 470千円
産前産後期間の国民健康保険料減額制度	出産する被保険者の産前産後期間相当分(単胎の場合4か月分、多胎の場合6か月分)の国民健康保険料を減額しました。 1 軽減人数 262人 2 軽減総額 8,263,934円
男女共同参画社会の推進と女性活動への支援事業 【配偶者暴力相談支援センターの設置】	機能として設置する配偶者暴力相談支援センターにおいて、被害者支援(相談、証明書発行など)を行いました。 1 相談件数 1,295件(4月～9月) 2 証明書発行件数 66件(4月～9月)
孤立ゼロプロジェクト推進事業	地域における見守り活動を推進し、区民が社会的孤立状態になることを防止するための取り組みを実施しました。 1 高齢者実態調査 (1)調査実施団体数 25団体(調査中含む) (2)調査実施世帯数 2,011世帯(調査中含む) (3)地域社会や支援につながった世帯数 193世帯 2 わがまちの孤立ゼロプロジェクト(自主的な見守り活動) (1)登録団体数 123団体 (令和6年9月末現在。上半期:新規登録13団体、辞退0団体)

令和6年度上半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内 容
包括的相談支援事業	令和6年4月から、高齢、障がい、介護、子ども・子育てなど既存の窓口に加えて、新たに「誰でも・なんでも相談できる福祉窓口」を創設しました。 属性や世代、内容を問わず、“どこに相談してよいか分からない困りごと”や“家族が抱える複数の悩み”等を受けとめ、庁内各所管・庁外関係機関とともに支援を実施しました。 - 福祉まるごと相談課での相談件数（アウトリーチによる相談126件を含む） 延べ2,744件（うち新規 857件） - 総合相談会（東京芸術センターでの出張相談会） - 開催回数 2回（開催日数：6月3日から8日、9月9日から14日の計12日間） - 相談受付件数 延べ219件
包括的相談支援事業	8050世帯や家族全体が困りごとを抱えている場合など、複合・複雑化した個別ケースについて、多角的な視点を持って課題を解きほぐし、支援策を見いだし、今後の支援につなげていくため、新たに多機関協働による支援会議を開始しました。 - 会議構成 庁内6部15課＋足立区社会福祉協議会の職員 - 支援会議の開催回数 6回（4月以降毎月開催） - 支援会議の検討ケース数 12件 - 個別ケースの状況に応じて、実際に支援に携わる機関に参加者を絞ったコアメンバーによる会議を随時開催（8回）
ひきこもり支援事業	セーフティネットあだち（ひきこもり支援）における支援を軸として、ひきこもり本人やその家族の生きづらさを受けとめ、個別の実情に寄り添いながら、相談・居場所支援を実施しました。 【セーフティネットあだち実績】 - ひきこもり相談件数 延べ186件（うち新規 70件） - 居場所利用件数 延べ243件 - 居場所イベント（ボードゲーム大会、縁日など） 6月以降毎月1回実施

令和6年度上半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内容
介護予防事業	高齢者の健康寿命の延伸を図るため、区内全域で様々な介護予防事業に取り組みました。 1 はつらつ教室(教室型) 元気な高齢者向けに室内で運動・口腔・栄養などのフレイル予防が学べる教室を開催しました。 【会場:16か所 回数:168回 参加者:467人】 2 はつらつ教室(プール型) 水中ウォーキングをメインとした健康体力づくりなどの教室を開催しました。 【会場:3か所 回数:24回 参加者:60人】 3 パークで筋トレ 専門指導員の指導のもと、公園や広場を利用して、安全・気軽に健康体力づくりができる教室を開催しました。 【会場38か所 回数:349回 参加者:9,883人】 4 ウォーキング教室 歩き方の基礎を学んだり、区内外のコースを気軽に歩きながら健康体力の維持・向上を目指す教室を開催しました。 【コース:3コース 回数:3回 参加者:54人】 5 はじめてのフレイル予防教室 介護予防チェックリストの結果、何らかの支援が必要と判定された方に対して、体力測定、筋力アップ、口腔・栄養指導などの講座(1クール＝全12回実施)を開催しました。 【会場:25か所 回数:32クール 参加者:352人】 6 みんなで元気アップ教室 自主グループ立上げを目的とした教室(1クール＝全10回)を開催しました。 【会場:26か所 回数:28クール 参加者:285人】 7 元気アップサポーター養成研修 グループ立上げや運営に興味がある方向けに、グループ活動継続のコツを学ぶ教室(1クール＝全8回)を開催しました。 【会場:5か所 回数:5クール 参加者:32人】 8 体力測定会 自分の健康状態を気軽に知ることを目的に、自主的な介護予防活動のチェックができる測定会を実施しました。 【会場:7か所 回数:21回 参加者:217人】 9 Zoomでオンライン体操教室 猛暑、感染症等で集合できない場合でも、自宅でも介護予防に取り組めるようZoomによる体操教室を開催しました。 【回数:26回 参加者数:363人(延べ)】 10 あだちスマホ教室 スマートフォンの操作が苦手な方に対して、Zoomでオンライン体操教室への参加につながるよう、スマホ教室を開催しました。 【会場:5か所 回数:26回 参加者:134人(延べ)】
介護人材の確保・定着事業 心身障がい者等の就労促進事業 (介護・障がいのしごと相談・面接会)	介護・障がい福祉サービス等の仕事に興味がある求職者を対象に、相談・面接会をハローワークと共催で実施しました。 【第1回】 1 実施日時 令和6年7月24日 午前11時から午後2時まで 2 会場 シアター1010 ギャラリー 3 出展事業者数 介護:30事業者、障がい福祉:5事業者 4 ブース来場者数 介護:148人、障がい福祉:35人

令和6年度上半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内 容
障がい者外出支援事業 【心身障がい者福祉タクシー・ 自動車燃料助成事業】	「福祉タクシー・自動車燃料助成券」及び「福祉自動車燃料助成券」の助成額を増額し、対象者の方に助成券を交付しました。 1 助成額 一人あたり年33,000円→年42,000円 2 交付人数 12,050人
障がい者給付事業 【日常生活用具給付事業】	ぼうこう・直腸機能障がい等のある方に対し、排せつ管理支援用具のうち、ストーマ装具の基準額を令和6年4月から増額して支給しました。 1 基準額 (1)消化器系 8,858円→10,000円 (2)尿路系 11,639円→13,000円 2 令和6年度上半期の支給実績 5,978件 59,180,669円 (令和5年度上半期の支給実績 5,029件 47,611,730円)
がん検診事業 【若年がん患者への在宅療養 費等助成】	介護保険制度の対象とならない39歳以下のがん患者の方が、住み慣れた自宅で安心して療養生活を送るため、在宅での療養に必要なサービス費用等の助成を実施しました。 1 交付申請件数 4件 2 助成決定額合計 75,528円
健康あだち21推進事業 (糖尿病対策)	1 6月の食育月間は、テーマを昨年度までの「ちよい増し野菜」から、楽(らく)に、楽(たの)しく野菜を食べることをコンセプトとした「楽(らく)ベジ」に変更し、啓発を実施。 (1)あだちベジタベライフ協力店での啓発 押しベジメニュー(店舗のお勧めメニュー)を区ホームページ及びSNS等で紹介。 【実施店舗】44店舗 (2)食育月間応募企画「作ってみたいベジレシピに投票しよう」 ア 楽ベジのテーマに沿ったレシピとして、クックパッド「東京あだち食堂」から区が選定した15品のうち、作ってみたいレシピに投票してもらう。 イ 応募いただいた方の中から抽選で調理器具や野菜の詰合せ等をプレゼント。 【応募数】676人 【当選者数】36人 (3)推定野菜摂取量測定器(ベジチェック)を活用した啓発 ア しょうぶまつりや区内スーパー、ギャラクシティ等で実施。 【実施数】6か所7日間 【参加者】計1,477人 (4)青果店との連携 ア 食育の日(6月19日)に野菜を購入した方にベジタベエコバッグをプレゼント。 【実施店舗及び配付人数】29店舗 計725人 (5)オンライン講座「楽ベジクッキング」の実施(動画deあだちに掲載) 【視聴回数】738回※R6.6.30現在 (6)企業との連携 ア (株)セブン-イレブン・ジャパンでは、楽ベジメニューとして「小松菜のバター醤油スパゲティ」の販売(区内138店舗)や、「えびクリームライス」を3年連続販売(都内計14区の約1,200店舗)。 イ (株)ライフコーポレーション、北千住マルイ、ルミネ北千住店、明治安田生命保険相互会社、足立成和信用金庫、あだちベジタベライフ協力店等と連携し、のぼり旗やポスター、チラシ等を活用した啓発を実施。 【民間企業】13社 ウ 味の素(株)は「中華」、キューピー(株)は「サラダ」をテーマに区とのコラボレシピを作成し、区内スーパー等で啓発。 2 元気な職場づくり応援事業(健康経営) (1)認定証交付式【3事業所】

令和6年度上半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内 容
こころといのちの相談支援事業	1 ゲートキーパー研修の実施 (1)ゲートキーパー研修(初級) 【対象者】区職員、民生・児童委員、関係機関職員、一般区民等 【参加者】234人 (2)教員向けゲートキーパー研修 【対象者】区立小中学校の教員 【参加者】126人 2 小・中学校特別授業「SOSの出し方教育」の実施(4月～9月) ※ DVDを活用した教諭による授業実施と保健師の出張授業実施の2方式 【教諭実施校】57校 【参加者】計13,962人 【保健師出張校】20校 【参加者】計4,322人 3 インターネット・ゲートキーパー事業の実施(4月～9月) 【キーワード検索件数】63,464回 【ホームページクリック数】5,905回 【相談者】54人 4 こころといのちの講演会の実施 【対象者】一般区民、関係機関職員、区職員等 【参加者】49人
感染症の予防・患者医療費公費負担事業(性感染症検査事業)	梅毒感染者増加等の影響により、性感染症の検査需要が増加しているため、患者増加が顕著な梅毒等性感染症の検査回数及び検査定員の拡充を行いました。 1 検査件数(令和6年9月末現在) (1)HIV検査 114件 (2)梅毒検査 114件 (3)クラミジア検査 110件
感染症の予防・患者医療費公費負担事業(感染業務DX化タブレット端末レンタル)	感染症発生時の初動対応や外国人とのコミュニケーション等に使用するタブレット端末のレンタルを開始し、業務を効率化しました。 ※ 令和6年4月から実施

令和6年度上半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内 容
エネルギー対策の推進 【温室効果ガス排出削減】	省エネ活動や再生可能エネルギーの活用を促進し、地球にやさしい低炭素社会を実現するため、各種補助を行いました。 ＜補助件数＞ 1 太陽光発電システム設置費補助金 交付件数 309件（受付件数 369件） 金額 64,778,000円 2 電気自動車等購入費補助金 交付件数 170件（受付件数 186件） 金額 16,605,000円 3 集合住宅・事業所等LED照明設置費補助金 交付件数 29件（受付件数 61件） 金額 5,329,000円 4 蓄電池設置費補助金 交付件数 323件（受付件数 354件） 金額 16,150,000円 5 省エネリフォーム補助金 交付件数 145件（受付件数 250件） 金額 7,191,000円 6 ZEH・ゼロエミ住宅補助金 交付件数 27件（受付件数 32件） 金額 7,230,000円 7 再エネ100電力導入サポートプラン協力金 交付件数 80件（受付件数 112件） 金額 1,600,000円 8 家庭用燃料電池システム設置費補助金 交付件数 9件（受付件数 16件） 金額 450,000円 9 戸建住宅向け電気自動車等用充電設備費補助金 交付件数 14件（受付件数 14件） 金額 350,000円 10 節湯型シャワーヘッド購入費補助費補助金 交付件数 130件（受付件数 140件） 金額 390,000円 11 節水型トイレ設置費補助金 交付件数 4件（受付件数 7件） 金額 120,000円 12 低公害車買換え支援事業利子補給等 交付件数 0件 金額 0円 13 エアコン購入費補助金 交付件数 224件（受付件数 250件） 金額 14,609,000円
ごみの減量・資源化の推進	ごみの減量に向けて、生ごみ処理機・コンポスト化容器への購入費補助を行いました。 1 交付決定件数 131件 2 金額 2,180,500円
家庭用廃食油回収事業	脱炭素化と再資源化の促進を図るため、令和6年6月より、家庭から排出される食用油の回収を試行的に実施しました。 【回収実績】（令和6年6月～9月） 1 回収量 627ℓ 2 回収拠点 2か所 3 回収日 毎月第3土曜日 午前9時～正午まで

令和6年度上半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内 容
ビューティフル・ウィンドウズ運動 【美化推進事業、ごみ屋敷、不法投棄、落書き、放置自転車対策】	【美化推進事業】 5、6月に町会・自治会、事業所、幼稚園・保育園・こども園、学校等が清掃活動を行う「春のごみゼロ地域清掃活動」を実施しました。 1 参加者 31,131人 2 参加団体数 784団体 【ごみ屋敷対策】 樹木等含む61件の相談を受け、65件（継続対応分を含む）を解決しました。 【不法投棄対策】 不法投棄処理個数は3,639個（前年同月比15個減、0.5%減）、不法投棄通報協力員の登録者数は延べ5,246人、民有地の不法投棄は41件の不法投棄か所の撤去を行いました。 【落書き対策】 通報・発見件数100件（4月～9月）に対し、86件の消去対応を行いました。 【放置自転車対策】 区内4か所の移送所と9か所の自転車駐車場で「不用自転車の無料引き取り事業」を実施し、3,564台の持ち込みがありました。
資源化物行政回収事業（プラスチック分別回収モデル事業）	地球温暖化や海洋プラスチックなどの環境問題対策と、資源の有効利用を目的に、プラスチック分別回収を令和6年4月より、モデル地区（千住、新田、小台・宮城地域）において先行実施しました。 【回収実績等】令和6年9月末現在 1 回収量 579.48t 2 リサイクル量 522.66t 3 CO₂削減量 768.31t
住宅施策推進事務 【マンション管理適正化促進事務委託】	マンション管理計画認定制度の周知を目的とし、区内の分譲マンションの所有者向けに、ミニセミナー及び個別マンション相談を開催しました。 1 実施回数 5回（平日夜および休日昼間） 2 参加者数 (1)ミニセミナー 延べ29人 (2)個別マンション相談 延べ19人（13組）

令和6年度上半期に実施した主な事業【まち】

事業名	内容
防災管理事務 (地域と一体となった水害対策)	アリオ西新井で、「あだち防災フェア2024」を実施し、区民の方を対象に防災意識の向上を図るため、関係機関と連携し、普及啓発を行いました。 1 来場者数 延べ2,550人 2 実施期間 8月28日～9月1日
防災管理事務 (防災無線テレホン案内の番号変更に伴うマグネットシート配付)	防災無線テレホン案内の番号変更を周知するため、マグネットシートを全戸配付しました。
防災訓練実施事業 (総合水防訓練)	東京消防庁と足立区の共催による大規模水防訓練を実施しました。組織力・機動力を活かした救出救助演習のほか、広報展示ブースを展開し、来場者の防災意識の向上に努めました。 1 実施日 令和6年5月25日 2 訓練参加機関 25機関(東京消防庁、足立区、消防団、東京都、警視庁、国土交通省、自衛隊、東京DMAT、町会・自治会、中学生消防隊、高校生防災リーダー等) 3 訓練参加人数 約550人 4 来場者数 約1,000人(訓練参加人数を除く)
災害備蓄の管理運営事務 (災害備蓄物資保管業務委託)	災害時に必要な物資強化を進めるにあたり、保管スペースの確保が必要となったため、物資保管業務、物資入庫業務を包括した委託契約を締結しました。
中小企業融資事業	区内事業者が必要な事業資金を円滑に調達できるよう、融資のあっせんを行うとともに、経費負担の軽減として利子補給および信用保証料の、全部または一部補助を行いました。 【上半期実績】 1 あっせん件数 1,259件 2 あっせん金額 9,973,480千円

令和6年度上半期に実施した主な事業【まち】

事業名	内 容
創業支援事業 【産学金公ネットワークによる 起業・創業支援】	創業者の増加や地元定着を図るため、各種セミナーや補助金、創業支援施設の運営等による支援を行いました。 1 起業家支援塾 (1)入門編 実施日 6月8日 受講者 31人 (2)実践編 実施日 7月6日～8月3日の毎週土曜日、8月17日、8月24日、8月31日 受講者 26人 2 創業プランコンテスト 募集期間 4月8日～6月7日 応募件数 13件 採択件数 最優秀賞1件、奨励賞2件 3 創業者経営力アップ支援事業 募集期間 4月1日～5月31日 応募件数 18件 採択件数 8件 4 創業支援施設入居状況(9月30日現在) 「かがやき」 10室中6室 「かけはし」 14室中12室・12ブース中4ブース
就労支援・雇用安定化事業 【区内企業の人材確保支援 等】	区内企業向け支援や助成、求職者向けの就労支援を行いました。 ＜実施期間:4月～9月＞ 【区内中小企業人材確保支援事業】 1 シニア人材登録者数 3人(累計114人) 2 シニア人材登録企業数 13社(累計145社) 3 シニア人材マッチング成約数 41件 【区内中小企業人材採用支援助成事業】 1 助成件数 52件 2 助成交付額 13,489千円 【中小企業人材育成・資格取得研修費補助事業】 1 補助件数 111件 2 補助交付額 2,292千円 【就業規則作成助成事業】 1 助成件数 12件 2 助成交付額 525千円 【マンスリー就職面接会】 1 実施回数 5回

令和6年度上半期に実施した主な事業【まち】

事業名	内 容
販路拡大支援事業（区内産業・製品のPR）	【海外販路拡大支援】 区内事業者の海外販路拡大支援の一環で、海外展示会への出展支援を行いました。 1 香港Food Expo (1)参加事業者 4社(菓子製造業等) (2)実施期間 8月15日～8月19日 【ECモール出店支援】 ECモールへの出店に向けた伴走型支援を実施しました。 1 支援事業者 7社 2 支援期間 7月～10月 【相談業務強化による支援】 事業者なんでも相談員とウェブ活用アドバイザーを令和4年度から設置しました。 1 相談対応数 (1)事業者なんでも相談員 148件 (2)ウェブ活用アドバイザー 157件
ものづくり支援事業 （小規模事業者等経営改善補助金）	資材高騰、燃料費高騰など、厳しい経営状況の中でも経営改善を図る意欲的な小規模事業者等に対し、補助金を交付しました。（補助上限 2,000千円、補助率 2/3） 1 交付件数 379件 2 補助交付額 477,159千円
避難行動要支援者対策推進事業 （計画書の作成・更新）	災害時安否確認申出書の全件発送に伴う計画書の新規作成を行いました。また、計画書の更新作成を行いました。 1 令和6年度上半期新規作成数 82人 2 令和6年度上半期更新作成数 78人
避難行動要支援者対策推進事業 （福祉避難所の開設、移送、ケア支援）	台風第7号対応として、福祉避難所の開設を行いました。また、避難行動要支援者の移送のほか、福祉避難所内に専門スタッフを配置し避難者のケアを行いました。 1 開設期間 8月15日～8月16日 2 開設場所 障がい福祉センターあしすと 3 避難者数 個別避難計画作成済みの3世帯4人 4 移送区間 避難者の自宅から福祉避難所間（往復） 5 配置した専門スタッフ 12人（看護師）

令和6年度上半期に実施した主な事業【まち】

事業名	内 容
自然環境・生物多様性の理解促進事業	1 スマートフォンアプリBiome(バイオーム)を活用した、区の生物分布状況を把握するための区民参加型の生きもの調査「あだち生きもの図鑑をつくろう!」を実施しました。 (1)春編(実施期間:4月1日～5月12日) ア 投稿者数 826人 イ 投稿数 9,203件 ウ 投稿種数 1,637種 (2)夏編(実施期間:7月20日～8月31日) ア 投稿者数 743人 イ 投稿数 5,332件 ウ 投稿種数 1,215種 2 小学生とその保護者を対象に、身近な場所に住む生き物を調査・観察し、生物多様性への理解を深める機会を提供しました。 (1)あだちの水辺調査隊in六木水の森公園 ア 参加者 58人 イ 実施日 6月16日 (2)セミの羽化観察会in佐野いこいの森 ア 参加者 54人 イ 実施日 8月3日 3 小学4～6年生とその保護者を対象に、区内では難しい環境活動の機会を提供し、友好都市(長野県山ノ内町)との交流を深める環境学習ツアー「大自然体験ツアーin志賀高原」を実施しました。 (1)参加者 21組43人 (2)実施日 8月3日～8月4日(1泊2日) 4 広く区民全般を対象とし、脱炭素社会の実現に向けた意識・行動変容につながる情報を発信するため、一般区民向け環境講座を実施しました。 (1)気象キャスターと学ぶ本当に怖い気候変動!(ギャラクシティ) ア 参加者 58人 イ 実施日 8月17日 (2)落語で楽しく海の環境について学ぼう!(ギャラクシティ) ア 参加者 56人 イ 実施日 9月7日 5 荒川河川敷での自然体験の機会を提供する「あだち自然体験デー」を、新田わくわく水辺広場で実施しました。 (1)参加者 1,000人 (2)実施日 9月15日
持続可能なコミュニティバスはるかぜ路線維持事業	1 乗降調査の開始 協働事業対象路線の利用実態に合った最適かつ効率的な運行の推進を目的とし、センサーを用いた乗降客数の計測を9月1日から開始しました。 2 運賃の改定 民間バス事業者が運行する周辺のバス路線と運賃を合わせるため、関係機関と協議を行い、10月1日に運賃改定(大人210円→230円)を行いました。 3 交通系ICカード決済端末の導入 利便性向上を図るため、バス事業者と調整を行い、10月1日からはるかぜ全路線で交通系ICカード決済が可能となりました。
入谷・鹿浜地区デマンドタクシー実証実験事業	1 交通不便地域における日常の移動手段確保を目的とし、タクシーを活用した実証実験を開始しました。 (1)対象地域 ア 入谷、鹿浜、加賀、皿沼、谷在家、椿の全域、江北、堀之内の一部地域 (2)事業期間 令和6年6月17日～令和6年12月13日

令和6年度上半期に実施した主な事業【まち】

事業名	内 容
交通安全の普及啓発事業	1 自転車ヘルメット購入費補助 4月から9月までで、4,001件の補助を行いました(11月18日時点)。
道路台帳整備事業【中川堤防 嵩上げ工事に伴う測量業務委託】	国土交通省が治水対策のため中川堤防の嵩上げ工事を行っています。工事の影響で変更となった堤防上の区道の範囲を明確にするため、測量を行い管理図面等を作成しています。 1 場所 佐野一丁目13番から大谷田一丁目32番先まで 2 距離 約0.9km 3 内容 区道区域の確認・測量および道路台帳図面等の作成
道路台帳整備事業 【公共基準点配点計画の策定】	【公共基準点とは】 足立区等行政が行う測量や土地登記に必要な図面作成など各種測量の基礎となるものであり、一定の精度が求められます。 【公共基準点配点計画の策定】 現在設置されている公共基準点は大型車の往来や工事等による道路掘削の影響、経年劣化などにより精度が低下しており再整備が必要なことから、公共基準点配点計画策定に着手しました。
道路の維持事業 (街路樹等診断業務委託)	「街路樹維持管理指針(令和5年3月策定)に基づき、重点的に取り組む路線を選定し、計画的に街路樹診断を実施しました。 1 実施本数 961本
道路の維持事業 (街路樹維持管理委託)	街路樹診断の結果に基づき、倒木等の危険性が高く、撤去すべきと判定された樹木の伐採を実施しました。 1 伐採本数 219本
拠点公園の運営管理委託事業(生物園入園料無料化)	夏休み期間中、18才以下を対象に入園料を無料としました。 1 対象者数 小中学生延べ6,249人 高校生延べ750人 計延べ6,999人 2 実施期間 7月21日～8月31日 3 無料化減収分1,162,350円を指定管理者に補填予定
緑と公園推進事務 (荒川河川敷緑地出水予測時における工作物の撤去・運搬・復旧作業委託)	令和6年8月に発生した台風7号の接近に伴い、荒川河川敷に設置しているトイレや詰所などの河川工作物の撤去・転倒と復旧作業を実施しました。 1 発注件数 10件 2 実施期間 8月15日～8月23日

令和6年度上半期に実施した主な事業【まち】

事業名	内 容
民間緑化推進助成事業 (保存樹木等の剪定助成)	保存樹木・樹林の所有者、管理者に対しての助成内容を一部変更しました。 1 剪定に係る助成限度額の撤廃 保存樹木15万円/年、保存樹林50万円/年の助成限度額を撤廃 2 剪定に係る助成頻度の変更 同一樹木に対して「4年程度に1回」の助成を「3年程度に1回」の助成に変更 3 申請件数 13件
公園等の整備事業	1 上沼田東公園が、令和6年9月1日にリニューアルオープンしました。 「スポーツとみどりの公園」をテーマに、野球場の人工芝化やインクルーシブ遊具のあるハッピーひろばの設置、旧上沼田小学校の桜を活かした植栽等を整備しました。 2 熱中症対策として、荒川河川敷緑地の有料スポーツ施設のベンチ上に日除けを62基設置しました。
緑の普及啓発事業	区民を対象に、みどりのあそびば、みどりの学び場を実施しました。 1 参加者数及び実施回数 (1)みどりのあそびば - ア みどりのあそびば 615人(4回開催) - イ ポルテあすなろ 34人(1回開催) - ウ サロン豆の木 8人(1回開催) (2)みどりの学び場 - ア 講座 76人(3回開催) - イ 剪定講習会 12人(2回開催) - ウ 公園散策 13人(1回開催)
民間緑化推進助成事業	1 まちの貴重な大木・樹林を守るため、新たに保存樹木・樹林を指定しました。 (1)保存樹木指定 2本 (2)保存樹林指定 1か所 527㎡ 2 まちの緑を増やすため、緑化助成制度により工事費の一部を助成しました。 (1)制度案内 28件 (2)申請件数 6件

令和6年度上半期に実施した主な事業【まち】

事業名	内 容
燃えにくいまちづくりの推進	【密集市街地整備事業】 1 防災生活道路の整備工事を実施しました。 (1)道路整備工事 1か所 2 防災生活道路の用地買収を実施しました。 (1)道路用地購入 7件 3 不燃化特区内の老朽建築物を除却する方に対して除却費の一部を助成しました。 (1)助成件数 94件 4 不燃化特区内の老朽建築物を除却し、不燃建築物に建替える方に対して除却費及び設計・監理費、建築費の一部を助成しました。 (1)助成件数 8件 【不燃化促進事業】 1 耐火建築物等以外の既存建築物を除却する方に対して除却費の一部を助成しました。 また、準耐火以上の建築物を新築する方に対して建築費の一部を助成しました。 (1)助成件数 3件 【細街路整備事業】 1 細街路の整備工事を実施しました。 (1)細街路整備工事 55件
揺れに強い建物の促進	【建築物耐震化促進事業】 1 木造住宅の耐震診断助成申請件数 302件 2 木造住宅の耐震改修工事等助成申請件数 218件 3 家具転倒防止等助成申請件数 47件 4 ブロック塀等カット工事助成申請件数 39件 5 フェンス設置工事助成申請件数 16件 6 新耐震基準木造住宅の除却工事助成申請件数 25件 7 再耐震診断助成申請件数 0件 ※ 「2 木造住宅の耐震改修工事等助成申請件数」には「6 新耐震基準木造住宅の除却工事助成申請件数」を含んでいます。 【老朽家屋対策事業】 1 老朽家屋等の危険解消件数 77件 【無接道家屋対策事業】 1 無接道家屋の建替え許可件数 7件

令和6年度上半期に実施した主な事業【行財政】

事業名	内 容
行政評価事務	【区民評価委員会】 1 令和5年度に実施した「重点プロジェクト」43事業のうち区が指定した20事業及び一般事務事業のうち区が指定した7事業について、区民評価委員会による評価を実施しました。 ※ 委員会活動実績 全24回 2 9月12日に評価結果を足立区長へ答申しました。 3 区民評価委員会活動報告書は、区政情報室、中央図書館に配布するとともにホームページに掲載する予定です。
広聴機会の充実と区政への反映	1 世論調査 区の施策に関する区民意識を把握するため、区政に関する世論調査を実施しました。調査結果は報告書としてまとめ、区のホームページにも掲載する予定です。 (1)対象者 無作為抽出した区民3,000人 (2)実施期間 8月15日～9月6日 2 世論調査(小規模調査) 1つのテーマについて、区政に対する区民の情報、要望、意見などを収集し、区政執行の参考とするため、区政に関する世論調査(小規模調査)を実施しました。調査結果は報告書としてまとめ、区のホームページにも掲載する予定です。 (1)調査テーマ プラスチック分別回収について (2)対象者 区政モニター200人及び無作為抽出した区民1,000人 (3)実施期間 9月27日～10月25日 3 区民の声 新型コロナウイルス感染症関連の声が減ったものの、「区民の声」の受付件数は例年に比べて多い状況が続いています。 (1)区民の声受付件数 1,502件(令和6年4月1日～9月30日) (2)区民の声の平均回答日数 4.06日(目標5.00日) 4 パブリックコメント 区民の生活に影響を及ぼす区の施策や計画などを策定する過程で、区民の意見を取り入れるため、上半期で4件のパブリックコメントを実施しました。 頂いた意見に対する区の考え方は、区のホームページにも掲載する予定です。 (1)頂いた意見の数 429件
政策一般管理事務 (基本計画策定)	1 足立区基本計画審議会において、新たな基本計画に関する審議を行い、9月4日に区長へ答申しました。 (1)開催期間 令和5年8月31日から令和6年6月10日まで (2)開催回数 全体会3回、くらし・まち分科会4回、ひと・行財政分科会4回 2 足立区基本計画策定にあたり、多様な意見を聴取するため、基本計画ライブミーティング(パネリストと来場者・ライブ配信視聴者が基本計画に関するディスカッションを実施)を開催しました。 (1)開催日 令和6年5月26日 (2)会場 足立区生涯学習センター 4階 講堂 (3)来場者数 23人 (4)動画視聴者数 349人 ※最大同時視聴者数69人

令和6年度上半期に実施した主な事業【行財政】

事業名	内容
ICTを活用した区民サービスおよび業務効率の向上	1 令和6年9月末時点で550件以上の手続をオンラインで受付けており、令和4年度の開始時から累計で、370,000件を超える申請がありました。 2 保育入園事務や、税業務、生活保護業務などにおいて、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を活用し、令和6年4月～9月の期間で、700時間以上にわたって自動入力が行われました。 3 令和6年1月に導入した申請書の事前作成(書かない窓口)システムは、令和6年4月～9月の期間で76件の利用があり、延べ259枚の申請書が作成されました。
SDGs未来都市推進事業	「足立区SDGs未来都市計画」の中で掲げている2030年のあるべき姿「誰もが一步踏み出せるレジリエンスの高いまち」の実現に向け、綾瀬を舞台として「貧困の連鎖解消」と「区に対するマイナスイメージ払拭」に資するモデル事業を推進しています。 1 アヤセ未来会議 「綾瀬をもっと愛される地域に」をコンセプトに、個人が街で“やってみたい”ことの実現に向けてアイデアを出し合い、実践するワークショップを開催しました。 (1)開催日 9月7日、9月21日 ※ 下半期は4回実施予定 (2)参加人数 1回あたり参加者約20人 2 高架下No Border LAB 20年近く空き店舗だった綾瀬駅西口高架下物件を、「やってみたいを、やってみる」というコンセプトのもと、綾瀬の新たな交流と賑わいの創出拠点として「あやセンターぐるぐる」を運営しています。 (1)来場者数 9,411人(延べ16,306人) (2)“やってみたい”相談件数 108件(延べ235件) (3)“やってみたい”企画の実現数 50件(延べ81件) (4)運営事業者によるイベント実施回数 18回(延べ40回) (5)イベント参加者数 286人(延べ620人) 3 あだちSDGsパートナー 持続可能な足立区の実現に向けて、区と共にSDGsに取り組むパートナー(企業・団体等)を登録しています。定期的に、パートナー同士の連携を深める交流も実施しています。 (1)パートナー登録数 393(9月30日時点) (2)交流会開催日 7月17日 ※ 下半期は2回実施予定
エリアデザインの推進	1 江北エリア (1)7月に江北エリア3施設(上沼田東公園、上沼田東公園東側創出用地、高野小学校跡地スポーツ施設)の進捗状況について、説明会を開催しました。 ア 実施期間 7月26日、27日 イ 参加者 延べ48人 2 竹の塚エリア (1)7月に竹の塚エリアデザインの検討を行うため、オープンハウス型説明会を開催しました。 ア 実施期間 7月28日、29日 イ 参加者 延べ134人 3 千住エリア (1)7月に千住大橋駅前用地活用方針(案)について、説明会を開催しました。 ア 実施期間 7月26日、27日 イ 参加者 延べ116人

令和6年度上半期に実施した主な事業【行財政】

事業名	内 容
情報発信強化事業 【各種広報媒体の充実・情報発信力の向上等】	1 あだち広報で以下の特集記事を掲載しました。 (1)5月10日号「命を守るために。水害への備え、やるのは「今」」 ア 豪雨災害の被災地市長の教訓や、避難方法の紹介などを通じて水害の備えについて発信しました。 (2)6月10日号「今から確認！熱中症対策」 ア 熱中症の対策について、大きく図やイラストなどを用いて発信しました。 2 足立区LINE公式アカウントの友だち登録数が前年10月1日から約14,000人増加し、約67,000人となりました(9/30現在)。 6月1日と2日のしょうぶまつり&世界の食広場では、足立区LINE公式アカウントを活用して世界の食広場で使用できるクーポンを発行しました。
シティプロモーション事業	1 広報物のレベルアップに向けたワークショップを区職員を対象に、5月・9月に2回開催し、計34人が受講しました。 (1)5月17日実施 定員20人に対し参加者21人 (2)9月18日実施 定員15人に対し参加者13人(当日体調不良による欠席2人) 2 区が制作する広報物等258件に対し、アドバイスをを行いました。 3 アートプロジェクト「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」 (1) 千住の文化サロン「仲町の家」を開館しました。 来場者:2,970人 (2) 以下のアートイベントを実施しました。 ア 「Memorial Rebirth 千住」 (ア) ふわり◎シャボン玉@しょうぶまつり(6月1日・2日):925人 (イ) ふわり◎シャボン玉@未来祭(7月20日):297人 (ウ) ふわり◎シャボン玉@西新井大師秋まつり(9月21日):297人 イ 「千住おばけキャンパス」 8月7日・8日:282人 4 足立区外へ向けたシティプロモーションとして、「ワケあり区、足立区。」というコピーのもと、大きく変わった足立区の現在の姿を区外に周知するため、メディア発表会、電車広告等を実施し、260を超えるメディアで取り上げられました。 また、足立区初の取り組みとしてXを活用したSNS広告を実施しました。 5 プレスリリースサイトを活用し、区のプラスに寄与する情報を14件発信、約4万人が閲覧し、テレビや新聞、Webなど約40件のメディアで取り上げられました。

令和6年度上半期に実施した主な事業【行財政】

事業名	内容
大学連携コーディネート事業	1 六大学の学長と区長が意見交換を行う「学長会議」を開催しました。 (1)実施日 8月29日 (2)テーマ「大学の学びを地域社会へ～切れ目のない学びの機会提供～」 2 区と六大学(放送大学、東京藝術大学、東京未来大学、帝京科学大学、東京電機大学、文教大学)の実務担当者による会議を開催し、情報共有や意見交換を行いました。 実施日 7月5日 3 区と大学による「あだちの大学リレーイベント企画」を開催しました。 放送大学との講座「理科好きあつまれ！科学のセカイ入門講座！自分だけのけんび鏡でミクロの世界をのぞいてみよう！」 8月18日 児童申込 160人(定員20人) 参加 児童20人、保護者19人 4 「大学生地域活動プラットフォーム」では、学生による区内企業の見学を実施しました。 (1)実施期間 5月22日～8月24日 (2)参加者 区内企業19社、東京未来大学等の学生延べ147人が参加
協働・協創推進体制の構築	1 協創を推進していくため、交流会を開催しました。 (1)NPO活動支援センター登録団体交流会(4月14日開催) 参加者35人 (2)子ども食堂やフードパントリーを運営する団体による交流会(第1回)9月27日開催 参加者11人 2 協創を推進していくため、皆援隊講座を開催しました。 (1)コミュニティビジネス①(4月28日開催) 会場21名 オンライン12名 (2)コミュニティビジネス②(5月12日開催) 会場22名 オンライン4名 (3)得意を活かしたボランティア プロボノセミナー(6月9日開催) 会場17名 オンライン2名 (4)子ども食堂スタッフ体験(7月21日開催) 会場24名 (5)小学生ボランティア体験DAY(手話)(7月28日開催) 会場33名 (6)小学生ボランティア体験DAY(ボッチャ)(8月7日開催) 会場11名 (7)小学生ボランティア体験DAY(ガイドヘルパー)(8月18日開催) 会場42名 (8)孤独・孤立-私たちにできる支援を考える-(9月7日開催) 会場33名 オンライン16名 (9)犬や猫と幸せに暮らすまちづくり(9月29日開催) 会場18名 オンライン6名

令和6年度上半期に実施した主な事業【行財政】

事業名	内容
人材育成事務【職員研修事業、職員の能力を活かす人事】	1 高卒、社会人経験者及び保育士就職希望者を対象に、下町5区（足立区、葛飾区、江東区、墨田区、江戸川区）合同職員採用説明会を実施しました。 (1)延べ参加者（足立区）高卒：89人、社会人経験者：26人、保育士：40人 (2)実施日 6月22日 2 文教大学、帝京科学大学、東京未来大学の保育士就職希望者を対象に、授業内での採用説明会を実施しました。 (1)参加者 文教大学 15人、帝京科学大学 5人、東京未来大学 30人 (2)実施日 文教大学 6月19日、帝京科学大学 6月25日、東京未来大学 6月26日 3 日本大学「公務員合同説明会」に参加し、心理職就職希望者を対象に説明会を実施しました。 (1)参加者（足立区）17人 (2)実施日 9月13日 4 大正大学3年生を対象に、下町5区（足立区、葛飾区、江東区、墨田区、江戸川区）合同職員採用説明会を実施しました。 (1)参加者 79人 (2)実施日 9月26日 5 大学3年生を対象に足立区インターンシップを実施しました。 (1)参加者 11人 (2)実施日 8月～9月のうち5日間 ※ 実施日は受入所属によって異なる。 6 入区1年目職員及び主任、係長級、管理職の昇任者に対し、職層ごとに求められる役割を意識づける職員研修を実施しました。 7 地方税務情報管理等に係る外部研修参加費用や幼児療育支援の心理検査研修に係る講師謝礼を負担するなど、職場研修の実施に必要な支援をしました(5件)。
組織能力の向上と組織風土の改善	1 接客あだち推進月間(7月)を設け、重点項目（「あいさつの徹底」「対応は目・口・足(体全体)で」「名札の適切な着用」）を軸に、各職場で接客マナーの向上を図りました。 2 8月を「事故・ミスゼロ月間」とし、係単位で集中的な事故・ミス防止の取組みを行い、事故のない業務運営に繋がりました。 3 職員の接客力向上を図るため、区民から寄せられる接客に関する意見や事例等を交えた内部講師による研修（入区1年目職員、区民事務所職員、接客あだち推進リーダーが対象）と、実技やコミュニケーション力について学ぶ、民間外部講師による研修（入区1年目職員、全会計年度任用職員が対象）を実施しました。 4 事故・ミスの防止を図るため、実践的なチェック方法を示した「根拠等との突合法」等に関する動画視聴研修を全庁的に実施しました。また、入区1年目職員を対象に、ミスに対する当事者意識醸成を目的とし、事例等を踏まえた研修を実施したほか、受講希望者を対象に、契約、予算、支出事務等を学ぶミス防止研修を実施しました。

令和6年度上半期に実施した主な事業【行財政】

事業名	内 容								
4公金収納金の収納率向上対策(税・保険料)	1 実施した主な取り組み (1)スマートフォン決済の拡充 4公金の納付に利用可能なスマートフォン決済アプリについて、令和6年4月からさらに「楽天Pay」を追加し、計6種類(「PayPay」「d払い」「au PAY」「LINE Pay」「J-Coin Pay」「楽天Pay」とし、利便性の更なる向上を図りました。 (2)口座振替の加入促進 各公金で口座振替勧奨を積極的に実施し、期限内収納の促進を図りました。 このうち、特別区民税、国民健康保険料においては、口座振替新規加入促進キャンペーンについて、広報紙、X(旧Twitter)等での周知に加え、納付案内センターにて対象者へのSMSの発信も併せて行い、加入促進を図りました。 また、後期高齢者医療保険料、介護保険料においては、納付書払いから始まる新規加入者に対して制度加入時から口座振替の勧奨を行い、滞納の未然防止に努めました。 (3)現年度分への対策 各公金において納付案内センターを活用し、初期滞納者へ電話、訪問やSMSによる納付勧奨を実施し、早期の滞納対策に努めました。 (4)長期滞納者への対応 各公金において財産調査を実施し、加えて特別区民税については個別訪問を実施するなど納付能力を見極めた上で、差押えや執行停止等の滞納処分を適正に実施しました。 2 各公金の収納率(令和6年9月末現在) <table border="0"> <tr> <td>(1)特別区民税</td><td>42.20%(令和5年度9月末 46.20%)</td></tr> <tr> <td>(2)国民健康保険料</td><td>29.85%(令和5年度9月末 30.19%)</td></tr> <tr> <td>(3)後期高齢者医療保険料</td><td>44.81%(令和5年度9月末 45.94%)</td></tr> <tr> <td>(4)介護保険料</td><td>46.71%(令和5年度9月末 48.91%)</td></tr> </table>	(1)特別区民税	42.20%(令和5年度9月末 46.20%)	(2)国民健康保険料	29.85%(令和5年度9月末 30.19%)	(3)後期高齢者医療保険料	44.81%(令和5年度9月末 45.94%)	(4)介護保険料	46.71%(令和5年度9月末 48.91%)
(1)特別区民税	42.20%(令和5年度9月末 46.20%)								
(2)国民健康保険料	29.85%(令和5年度9月末 30.19%)								
(3)後期高齢者医療保険料	44.81%(令和5年度9月末 45.94%)								
(4)介護保険料	46.71%(令和5年度9月末 48.91%)								
町会・自治会の活性化支援	単一の町会・自治会や、複数の町会・自治会で構成される地区町会・自治会連合会等への運営助成を行ったほか、会館整備、加入促進及び子ども向け地域活性化事業および活性化用物品購入等に対して助成しました。 1 町会・自治会運営助成(416件) 89,340千円 2 足立区町会・自治会連合会運営助成(1件) 2,200千円 3 地区町会・自治会連合会運営助成(25件) 7,500千円 4 自主防災倉庫設置費用の助成(1件) 400千円 5 掲示板設置費用の助成(9件) 1,427千円 6 活性化用物品購入費用の助成(25件) 1,764千円 7 加入促進及び子ども向け地域活性化事業助成 (1)加入促進チラシ(5件) 459千円 (2)子ども向けイベント(10件) 2,665千円 8 会館整備費用の助成(1件) 10,000千円								

令和6年度上半期に実施した主な事業【その他】

事業名	内 容
施設営繕一般管理事務 【技術支援業務委託】	老朽化により増加、複雑化している区施設の改築・改修工事の設計・積算・工事監理等の業務に関し、専門的知見を有する事業者から建設業界の最新の動向や工法等の提案・助言を得るため、技術支援業務委託を実施しています。 1 相談件数 6案件(延べ46回)
定額減税一体支給給付の支給事務	令和6年度分個人住民税、令和6年分所得税から、定額減税額を引いた際に、減税しきれないと見込まれる方に、差額を1万円単位で給付しました。 1 支給決定数 71,953人(令和6年9月30日時点) 2 支給金額 2,867,460千円
戸籍住民関係一般管理事務 【証明書自動交付機の運用】	住民票などの各種証明書を区役所へ取りに来た区民を対象に、南館1階に設置した証明書自動交付機を利用してもらうことで、コンビニ交付のさらなる普及や窓口混雑緩和に繋がるよう努めました。 ※ 令和6年1月から実施 1 4月から9月までの実績通数 5,567通
戸籍住民関係一般管理事務 【おくやみ相談窓口の開設】	ご遺族の様々な手続きをサポートする「おくやみ相談窓口」の10月1日の開設に向けて電話予約開始やチラシの作成及び配布など、事前準備に努めました。 1 9月中の実績 電話38件 予約17件 ※ 電話予約は9月25日から開始
多文化共生推進事業 【外国にルーツを持つ子どもに対する学習支援事業委託】	日本語学習が必要で、経済的理由がある外国にルーツを持つ児童生徒等に対し、居場所を兼ねた学習支援事業を委託事業として実施しました。 1 在籍者数 45人(令和6年9月末現在) 2 実施期間 令和6年4月～令和7年3月 3 総利用日数 692日(令和6年4月～令和6年9月) 4 総授業時間数 920時間(令和6年4月～令和6年9月)
住区施設運営委託事務外3事業 【機械警備導入】	住区センター等全96施設のうち、機械警備(セコム等)未導入施設に対し、新たに機械警備を導入しました。 1 対象施設 住区センター(分館含む)、鹿浜いきいき館、悠々会館、学童保育室(直営、指定管理、住区学童) 2 導入施設数 65施設(大規模改修工事による設置含む)
住区施設運営委託事務 【住区センター運営費】	住区センター職員の処遇改善、運営方法の見直しとして、以下の内容を実施しました。 1 住区センター職員基本単価の見直し 時給1,130円→1,210円 2 住区センター職員求人費用の新設 年2回相当 3 住区センター内児童部門設立 対象職員時給単価上乘せ(+150円)

令和6年度上半期に実施した主な事業【その他】

事業名	内容
みるスポーツ事業	トップアスリートのプレーをみる機会を提供することを目的に、パリオリンピックのパブリックビューイングと夏休み野球観戦デーを実施しました。 1 パリオリンピックパブリックビューイング(陸上男子20km競歩) (1)実施日 8月1日 (2)参加者 408人 2 夏休み野球観戦デー (1)実施日 ア 8月8日(ヤクルトvs阪神戦) イ 8月23日(ヤクルトvsDeNA戦) ウ 8月24日(巨人vs中日戦) (2)参加者 ア 47組 143人 イ 44組 131人 ウ 29組 89人
梅田八丁目複合施設整備事業	梅田八丁目複合施設設計業務委託プロポーザル選定委員会により選定した設計事業者と令和6年1月末に委託業務契約を締結し、施設整備に向けた設計業務を開始しました。 1 基本設計業務 (1)基本設計概要(案)の策定(令和6年9月) (2)区民ワークショップの実施 第一回:令和6年7月27日 2 用地維持管理 (1)仮囲いの点検(令和6年7月) (2)整備予定地の草刈り(令和6年7月)
未返却図書資料対策	令和6年2月に策定した「未返却図書資料アクションプラン」に基づき次の取組を実施しました。 1 ショートメッセージサービス(SMS)による督促の強化(令和6年4月から) 返却期限の3週間後に1回送信していたSMSを、2週間後と4週間後の計2回に強化しました。 (1)送信件数(4月から9月) 2,869件 (2)返却冊数 9,381冊 2 貸出停止措置の前倒し(令和6年7月から) 貸出停止措置の開始時期を、従来の「返却期日から1か月後」から「返却期日の翌日」に前倒しました。 (1)令和6年に新たに発生した長期未返却図書資料数(令和6年7月末時点) 1,140冊(対前年比で287冊減)

令和6年度上半期に実施した主な事業【その他】

事業名	内 容
ブックポストの設置拡大	図書資料返却の利便性を向上させ、貸出の促進と新たな未返却図書資料を発生させない取り組みの1つとして、新たに区内3か所の商業施設へ返却用ブックポストを設置しました。 1 設置場所(商業施設)及び設置日 (1)アリオ西新井……………令和6年3月18日 (2)ポンテポルタ千住………令和6年3月27日 (3)ライフ扇大橋駅前店……令和6年3月28日 2 図書資料回収冊数(4月から9月) (1)アリオ西新井…………… 9,084冊 (2)ポンテポルタ千住………5,678冊 (3)ライフ扇大橋駅前店… 2,001冊
図書館協議会及び図書館運営に関する意見聴取	外部の専門的な知見や利用者の視点を取り入れ、区立図書館の運営とサービスを、時代の要請に合わせて見直していくため、図書館協議会の設置及び有識者とのアドバイザリー契約を実施しました。 1 図書館協議会 (1)実施日 第1回……令和6年8月23日 (2)有識者とのアドバイザリー契約 相談回数及び時間…2回5時間
第3回レシートde商品券事業	物価高騰等で影響を受けた区内事業者や区民を元気づけるため、令和6年度消費喚起策の第1弾「第3回レシートde商品券事業」を実施しました。 1 実施期間 3月25日～5月24日 2 商品券申請件数 81,238件
商店街応援券事業(商連プレミアム商品券事業)	物価高騰等で影響を受けた区内事業者や区民を元気づけるため、令和6年度消費喚起策の第2弾「商店街応援券(プレミアム商品券)」(足立区商店街振興組合連合会が発行)が販売されました。 1 プレミアム率 (1)紙券 20% (2)デジタル券 25% 2 販売方法 予約抽選販売 3 申込期間 7月1日～7月22日 4 商品券販売数 (1)紙券 32,577セット (2)デジタル券 25,505セット 5 商品券使用期間 9月2日～12月31日

令和6年度上半期に実施した主な事業【その他】

事業名	内 容
あだち物価高騰支援臨時給付金事業	物価高騰の影響を受ける低所得世帯の負担を軽減するため、令和6年度新たに住民税非課税となった世帯または、令和6年度新たに住民税均等割のみ課税となった世帯に対する給付金(1世帯10万円)を支給しました。また、これらの給付金の対象で世帯内に生計を同一にする平成18年4月2日生まれ以降の児童がいる世帯に対するこども加算(児童1人5万円)を支給しました。 1 支給実績 11,535世帯(令和6年9月末現在) (1)令和6年度新たに住民税非課税となった世帯 7,651世帯 (2)令和6年度新たに住民税均等割のみ課税となった世帯 2,787世帯 (3)令和6年度低所得世帯に対するこども加算 1,097世帯(1,815人) 2 支給額 1,134,550,000円(令和6年9月末現在) (1)令和6年度新たに住民税非課税となった世帯 765,100,000円 (2)令和6年度新たに住民税均等割のみ課税となった世帯 278,700,000円 (3)令和6年度低所得世帯に対するこども加算 90,750,000円
動物愛護衛生事業 (ハクビシン・アライグマ対策)	1 ハクビシン・アライグマの被害にお困りの方を対象に「捕獲器(箱わな)」を設置して、捕獲する事業を実施しました。 (1)捕獲数 52匹 2 ハクビシン・アライグマによる屋内侵入被害を防ぐために実施した、侵入口の閉塞工事に係る費用を助成しました。 (1)助成実績 5件
AIシステムを利用した食品ロス削減実証事業	AIシステムによる需要予測を利用した店舗運営は食品ロスの削減に効果があるか実証実験を継続しました。 1 実施期間 令和5年10月～令和7年3月末(予定) 2 参加事業者数 4事業者
ごみ収集運搬事業 【ごみ集積所パトロール】	カラスによるごみの散乱被害が多い地域を対象に早朝パトロールし、散乱したごみの清掃や防鳥ネットを被せ直すなどの作業を行い、集積所美化に努めました。また、被害状況を画像で報告させて、その情報を集積所利用者の排出指導や新たなカラス対策に活用しました。 1 実施期間 令和6年4月から7月末まで 2 実施回数 合計105回(おおむね週6回×18週)
環境保全対策事業 【省エネルギー対策工場設備更新補助金】	脱炭素化を加速させるため、認可工場(中小製造業)における生産設備の省エネ機器への更新費用の一部を補助しました。 ＜補助件数＞ 実施回数 1件 金額 2,402,000円